

令和4年度 指定管理施設運営状況評価表

1. 施設の概要

施設の名称	むつ市早掛レイクサイドヒルキャンプ場	
指定管理者	団体名	むつ商工会議所
	代表者	会頭 内田 大輔
	所在地	むつ市小川町二丁目11-4
指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日（5年間）	
指定管理業務の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・市民が自然とふれあい、心身の健康増進を図るため、市民参加型のイベントを実施し、地域住民が交流しながら自然と親しむ場を提供する事業。 ・周遊型観光の促進を図るため、観光施設の案内、観光情報の発信、地場製品のPRを積極的に実施し観光客のリピーター化の促進を図る事業。 ・常に清潔・安全・快適な施設を提供するための維持管理業務。 	

2. 収支の状況 ※消費税及び地方消費税を含んだ額を計上すること。自主事業分は含まないこと。

※原則として他会計からの繰入金及び他会計への繰出金は含まないこと。

※人件費には、経常の指定管理業務にかかる人件費のみを記載し、臨時的な日雇い雇用などの賃金を含まないこと。

単位：千円

区 分	計 画 額 ①	実 績 額 ②	増 減 (②-①)
収入合計(A)	10,645	11,955	1,310
うち利用料金額	3,360	4,385	1,025
うち指定管理料	7,260	7,540	280
支出合計(B)	10,645	10,937	292
うち人件費	2,568	2,561	▲7
収支差(A-B)	0	1,018	1,018
市への納入金			
計画額と比較した実績額の増減理由	新型コロナウイルスの感染の影響を受けて屋外でのキャンプ人気が高まった。		

3. 施設利用の状況

単位：人

利用者数	区 分	計 画 ①	実 績 ②	増 減 (②-①)
	有料利用者数	5,600	4,852	▲748
無料利用者数	900	366	▲534	
利用者の声とその対応状況 ※利用者アンケートの実施(有) ご意見箱は常時設置し意見収集するほか、アンケート調査も併せておこなっている。利用者の声としては概ね好評を得ている。				

4. 自主事業の実施状況

単位：人、千円

事業名	利用者数	収入	支出
オープンイベント（無料開放）	110人	0円	3,580円
キャンプ場バーベキュー祭り	140人	149,500円	248,401円
ウィークディ利用率向上事業	38人	0円	15,373円

5. 個別項目評価 ※指定管理者と市の所管課が評価（A：優良 B：適正 C：要改善）

評価基準 A（優良）：計画された業務水準を大きく超える、独自の取組を実施するなど、特にめざましい成果があった。

B（適正）：計画された業務水準を概ね達成した。

C（要改善）：計画された業務水準を達成できなかった。

評価項目	自己評価	市の評価
(1) 施設設置目的に添ったサービス向上に関する取組み状況		
①開館時間、休館日等を守り、施設利便性の確保に努めたか。	B	B
②施設の使用許可、使用料減免等が適正、円滑に行われたか。	B	B
③利用者に対する接客マナー等、職員の勤務態度は適正だったか。	B	B
④利用者の意見を聴取し、それらを反映する取組みを行ったか。	B	B
(2) 利用促進に関する取組み状況		
①施設利便性を高める努力を行い、効果が得られたか。	B	B
②潜在的な利用者等に営業広報活動を行い、利用アピールをしたか。	B	B
③自主事業を企画・実施し、効果が得られたか。	B	B
(3) 効率性の向上に関する取組み状況		
①施設管理経費を低減するための取組みを行い、効果があったか。	B	B
②収入増を図るための取組みを行い、効果があったか。	B	B
③職員の資質・能力向上を図る取組みがされたか。	B	B
(4) 施設の適正な維持・管理に関する取組み状況		
①施設の維持管理、運営に当たる人員配置は適正であったか。	B	B
②設備・備品の維持管理及び修繕が適切に行われたか。	B	B
③労働関係法令等を遵守し、適正な管理を行ったか。	B	B
④利用料金の収受及び施設管理経費の支出は適正であったか。	B	B
(5) 平等利用、安全対策、危機管理等に関する取組み状況		
①利用者が平等に利用できるよう施設利用情報提供に配慮したか。	B	B
②日常の事故防止等の安全対策は適切であったか。	B	B
③防犯、防災対策等の危機管理体制は適切であったか。	B	B
④利用者の個人情報保護は徹底されていたか。	B	B

6. 指定管理者総合評価 ㊤自己評価をAとした項目の内容及びCとした項目の改善策を記載すること。

丁寧な接客を旨とし、客同士のトラブル防止のためのマナーの徹底を呼び掛けるとともに、定時のほか、混雑時の場内巡回を適宜行っている。

施設維持のための塗装や修繕をこまめに行い、安全管理に万全を期している。また自主事業のPRは勿論、空き状況などをFMアジュールで発信をするなどして稼働率アップを目指している。

その他、常に管理人との意思疎通を入念に図り、また報告と申し送りの徹底を指示し、従事する職員が共通の認識を持って施設運営にあたっている。

7. 市の所管課総合評価 ㊤市の評価をCとした項目についての指導内容も記載すること。

令和4年度においても新型コロナウイルス感染症予防対策を適切に講じ、清潔・安全・快適な施設を提供するための維持管理業務に務めていただいた。現在、屋外でのキャンプ需要が高まっていることから、情報発信を強化し、新規利用者の獲得とともに、更なる顧客満足度の向上を図ることで、リピーターの増加を目指していただきたい。